

Ⅳ 調査結果の要約

I. 防災意識について

●災害時の第一避難所の認知度は、「知っている」が約8割（問7）

災害時の第一避難所の認知度は、「知っている」が80.8%、「知らない」が17.6%で前者は後者の約4.6倍となっている。

●東大阪市防災マップ・ハザードマップの保管場所は、「どこにあるか分からない」が4割弱（問8 複数回答）

東大阪市防災マップ・ハザードマップの保管場所は、「どこにあるか分からない」が37.3%、次いで「引き出しなどにしまっている」が31.3%、「目の届くところに置いてある」が16.3%の順となっている。

●防災に関する対策は、「特に何もしていない」が5割弱（問9 複数回答）

防災に対する対策は、「特に何もしていない」が46.1%、次いで「自宅に非常食、水などの物資を保管している」が30.1%、「家族と災害時の避難場所を決めている」が21.3%の順となっている。

●自主防災組織の認知度は、「知らない」が8割弱（問10）

自主防災組織の認知度は、「知らない」が77.9%、「知っている」が19.6%で、前者は後者の約4倍となっている。

●過去2年間の防災関連の催しの参加有無は、「参加したことがない」が5割半（問11 複数回答）

過去2年間の防災関連の催しの参加有無は、「参加したことがない」が55.1%、次いで「参加の機会がなかった」が24.3%、「職場の防災訓練・講話等に参加した」が14.2%の順となっている。

Ⅱ. 市の広報活動について

●市政情報の入手経路は、「市政だより」が約8割（問12 複数回答）

市政情報の入手経路は、「市政だより」が80.3%、次いで「自治会の回覧板」が42.7%、「人づて(家族・知人・友人)」が16.3%の順となっている。

●「東大阪市政だより」の閲読状況は、“読む”が8割強（問13）

「東大阪市政だより」の閲読状況は、「ときどき読む」が42.7%、次いで「必ず毎号読む」が39.3%、「読まない」が10.1%の順となっている。

“読む”（「必ず毎号読む」(39.3%) + 「ときどき読む」(42.7%)）は82.0%となっている。

●広報番組「虹色ねっとわーく」の視聴状況は、「見ていない」が5割強（問14）

広報番組「虹色ねっとわーく」の視聴状況は、「見ていない」が51.5%、次いで「ケーブルテレビを視聴することができない」が24.6%、「月に数回」が15.5%の順となっている。

●市ウェブサイトへのアクセス有無は、「アクセスしたことがない」が7割半（問15）

市ウェブサイトへのアクセス有無は、「アクセスしたことがない」が74.6%、「アクセスしたことがある」が23.3%で、前者は後者の約3.2倍となっている。

●市ウェブサイトでの情報の見つけやすさは、「すぐに見つけることができた」が3割弱（問15-1）

市ウェブサイトでの情報の見つけやすさは、「すぐに見つけることができた」が28.5%、次いで「サイト内検索を利用して見つけることができた」が25.1%、「関連するページを探し、数回の画面展開で見つけることができた」が23.3%の順となっている。

●「東大阪市公式Facebook」開設の認知度は、「知らない」が9割強（問16）

「東大阪市公式Facebook」開設の認知度は、「知らない」が92.0%、「知っている」が6.4%で、圧倒的に「知らない」が高くなっている。

●「東大阪市公式Facebook」に期待する情報は、「健康・医療に関する情報」が5割弱（問17 複数回答）

「東大阪市公式Facebook」に期待する情報は、「健康・医療に関する情報」が48.4%、次いで「福祉や介護に関する市のサービスの情報」が36.8%、「市が開催するイベント情報など」が32.5%の順となっている。

Ⅲ. インターネット等を利用した行政サービスについて

●インターネット接続機器の所有状況は、「パソコン」が6割強（問18 複数回答）

インターネット接続機器の所有状況は、「パソコン」が64.0%、次いで「スマートフォン」が39.1%、「携帯電話（スマートフォンを除く）」が37.0%の順となっている。

●市へのメール等での意見・要望提出の有無は、「出そうと思ったことも出したこともない」が8割弱（問19）

市へのメール等での意見・要望提出の有無は、「出そうと思ったことも出したこともない」が77.8%、次いで「出そうと思ったことはあるが、出したことはない」が16.9%、「出したことがある」が2.1%の順となっている。

●インターネット市政モニター制度への参加意向は、「参加したいと思わない」が6割半（問20）

インターネット市政モニター制度への参加意向は、「参加したいと思わない」が64.9%、次いで「参加したいと思う」が15.9%、「謝礼等による」が14.3%の順となっている。

●インターネット市政モニター制度の希望謝礼は、「金券（商品券、プリペイドカードなど）」が6割強（問20-1 複数回答）

インターネット市政モニター制度の希望謝礼は、「金券（商品券、プリペイドカードなど）」が64.3%、次いで「図書カード」が35.7%、「現金」が30.5%の順となっている。

●インターネット市政モニター制度の年間希望謝礼金額は、「1,000円程度」が5割半（問20-2）

インターネット市政モニター制度の年間希望謝礼金額は、「1,000円程度」が54.5%、次いで「1,000円を超える額」が27.2%、「500円程度」が17.4%の順となっている。

●インターネットサービスの希望内容は、「保健・医療・福祉に関する情報の充実」が約4割（問21 複数回答）

インターネットサービスの希望内容は、「保健・医療・福祉に関する情報の充実」が40.9%、次いで「防災・安全に関する情報の充実(病院の案内、防災マップなど)」が32.1%、「各種証明書の申請届出などができるシステム」が27.0%の順となっている。

IV. 「まちの姿(景観)」について

●日常生活における景観の意識度は、“意識する”が7割強（問22）

日常生活における景観の意識度は、「たまに意識する」が48.9%、次いで「よく意識する」が25.4%、「あまり意識しない」が17.1%の順となっている。“意識する”（「よく意識する」（25.4%）＋「たまに意識する」（48.9%））は74.3%と全体の7割強となっている。

●居住地域の景観評価は、「ふつう」が5割強（問23）

居住地域の景観評価は、「ふつう」が51.0%、次いで「あまりよくない」が26.8%、「よい」が10.8%の順となっている。“プラス評価”（「とてもよい」（1.1%）＋「よい」（10.8%））は、11.9%で1割強となっている。

●景観をよくするための規制の必要性は、「ある程度の規制は必要である」が7割弱（問24）

景観をよくするための規制の必要性は、「ある程度の規制は必要である」が67.0%、次いで「必要である」が19.6%、「あまり必要でない」が8.4%の順となっている。

●景観をよくするために必要とする規制の対象は、「道路や河川などの公共施設に対する規制」が6割強（問25 複数回答）

景観をよくするために必要とする規制の対象は、「道路や河川などの公共施設に対する規制」が61.5%、次いで「高いビルやマンション等に対する規制」が35.5%、「一般的な住宅に対する規制」が19.5%の順となっている。

●景観をよくするまちづくり活動への参加は、“参加意向”が約3割（問26）

景観をよくするまちづくり活動への参加意向は、「あまり参加したくない」が46.0%、次いで「できれば参加したい」が27.7%、「参加したくない」が20.0%の順となっている。“参加意向”（「参加したい」（3.2%）＋「できれば参加したい」（27.7%））は、30.9%となっている。

V. 住宅等の防火規制に対する意識について

●自宅の火災や延焼に対する不安の有無は、「不安はある」が8割弱（問27）

自宅の火災や延焼に対する不安の有無は、「不安はある」が76.5%、「不安はない」が20.8%で、前者は後者の約3.7倍となっている。

●防火規制の地域による違いの認知度は、「知らない」が約8割（問28）

防火規制の地域による違いの認知度は、「知らない」が80.8%、「知っている」が17.6%で、前者は後者の約4.6倍となっている。

●住居決定時の地域が災害等に強いのかどうかの考慮有無は、「考慮する」が8割強（問29）

住居決定時の地域が災害等に強いのかどうかの考慮有無は、「考慮する」が83.3%、「考慮しない」が13.7%で、前者は後者の約6倍となっている。

●居住地域の不燃化推進の必要性は、「必要であると思う」が約8割（問30）

居住地域の不燃化推進の必要性は、「必要であると思う」が80.9%、「必要であると思わない」が14.3%で、前者は後者の約5.7倍となっている。

●自宅の防火性能向上の費用の負担意識は、「金額による」が7割弱（問31）

自宅の防火性能向上の費用の負担意識は、「金額による」が66.9%、次いで「そうは思わない」が18.6%、「そう思う」が11.1%の順となっている。

VI. 消防局防災学習センターについて

●「消防局防災学習センター」の認知利用状況は、「知らない」が7割半（問 32）

「消防局防災学習センター」の認知利用状況は、「知らない」が75.2%、次いで「知っているが、行ったことがない」が20.0%、「知っていて、行ったことがある」が4.3%の順となっている。“知っている”（「知っていて、行ったことがある」(4.3%) + 「知っているが、行ったことがない」(20.0%)）は24.3%となっている。

●「消防局防災学習センター」の認知経路は、「市政だより、東大阪消防広報紙等を通じて」が6割弱（問 32-1 複数回答）

「消防局防災学習センター」の認知経路は、「市政だより、東大阪消防広報紙等を通じて」が58.4%、次いで「家族、友人、知人を通じて」が31.9%、「消防局防災学習センター」に関するポスター・パンフレット等を通じて」が10.8%の順となっている。

●「消防局防災学習センター」で良かったコーナーは、「地震体験コーナー」が6割強（問 32-2 複数回答）

「消防局防災学習センター」で良かったコーナーは、「地震体験コーナー」が64.1%、次いで「煙避難体験コーナー」が50.0%、「初期消火体験コーナー」が39.1%の順となっている。

●「消防局防災学習センター」への訪館意向は、「どちらとも言えない」が4割強（問 32-3）

「消防局防災学習センター」への訪館意向は、「どちらとも言えない」が42.9%、次いで「行ってみたいと思う」が28.2%、「行ってみたいと思わない」が14.6%の順となっている。